

## V 取組を開始した事業

本戦略会議での検討を踏まえ、都教育委員会では、平成 26（2014）年度以降、一部の事業を開始している。

これらの事業については、現在までの実施状況や成果を検証し、平成 29（2017）年度以降の事業展開を検討していく必要がある。

### 取組を開始した事業と今後推進していく取組

		提 言	H28 までに 開始済	H29 以降に 推進	
1 「使える英語力」の育成	1 英語授業の改善	提言 1 外国人指導者を活用した授業の改善	○		
		提言 2 英語授業における CAN-DO リストの作成・活用		○	
		提言 3 少人数指導の充実	○		
		提言 4 モジュール授業の活用		○	
		提言 5 東京都独自の英語教材「Welcome to Tokyo」の活用	○		
		提言 6 4 技能を測る評価の実施	○		
		提言 7 4 技能を測る高校入試検査導入の検討		○	
		提言 8 ICT の更なる活用	○		
		提言 9 小学校における教科化への対応	○		
	の指導力向上 1・2 教員	提言 10 英語科教員採用選考の改善			○
		提言 11 指導力向上に向けた教員研修の充実	○		
		提言 12 英語科教員等の海外派遣研修の充実	○		
		提言 13 検定試験等での教員の英語力の把握	○		
2 国際理解の深化と世界に貢献する 意欲の育成	提言 14 海外の高校への留学支援制度の拡充（次世代リーダー育成道場）	○			
	提言 15 外国人留学生招致・交流事業の実施	○			
	提言 16 国際バカロレア認定校の設置とその教育内容の充実	○			
	提言 17 新たに設置する学校における先進的な英語教育の取組の充実		○		
	提言 18 都立高校生への海外大学への進学支援	○			
	提言 19 東京型英語村の設置と学習プログラムの開発		○		
	提言 20 国際交流イベントの実施		○		
	提言 21 都立高校生のボランティア活動等のプログラムの実施	○			
	提言 22 都立高校における姉妹校提携の推進	○			
	提言 23 「おもてなしプロジェクト」の実施	○			
	提言 24 都立高校における英語以外の外国語指導の充実	○			
3 日本人としての自覚や誇りの涵養	提言 25 東京都独自の英語教材『Welcome to Tokyo』の活用（再掲）	○			
4 児童・生徒及び教員に求められる英語力	提言 26 都立高校生の到達目標の設定			○	
	提言 27 小・中学校の児童・生徒の到達目標の設定			○	
	提言 28 教員に求められる英語力の目標の設定			○	

## 1 JET-ALT 配置拡大、Non-JET ALT 配置時数の拡大（提言 1）

平成 12（2000）年度から島しょ部の都立高校のみに配置してきた JET-ALT を、平成 25（2013）年度は新たに 7 校に 5 人配置し、平成 26（2014）年度は、それを 100 校 100 人にまで拡大した。平成 27（2015）年度は更に 189 校 200 人に拡大し、全都立高校及び都立中等教育学校（定時制課程単独校を除く。）に配置した。これらの JET-ALT は、各学校で英語のティーム・ティーチングの授業や、部活動・学校行事等における交流を通して、生徒のコミュニケーション能力の向上と異文化理解の深化に取り組んでいる。

また、平成 27（2015）年度から、高校等に配置されている JET-ALT を、都内公立小学校・中学校・特別支援学校（27 年度は 100 校、28 年度は 200 校）に派遣し、外国人との文化交流を促進する事業を実施している。

さらに、JET-ALT の配置拡大とあわせて、平成 26（2014）年度以降、在京外国人を活用した Non-JET ALT の配置時数も拡大している。

## 2 少人数指導の充実（提言 3）

平成 26（2014）年度以降、JET-ALT の配置及び Non-JET ALT の配置時数の拡大に伴い、都立高校及び都立中等教育学校においては、英語科教員と外国人指導者がそれぞれ役割分担して指導するなど、人との関わりの中で言葉を使う機会を増やすことにより生徒のコミュニケーション能力の向上を図るための英語授業の改善を進めている。

また、都内公立中学校においては、授業内の言語活動でより多くのインタラクションを取り入れるなどの改善を図るため、平成 26 年（2014 年）に「東京方式 少人数・習熟度別指導ガイドライン《中学校 英語》」を策定・配布するとともに、教員の加配を行っている。

## 3 東京都独自の英語教材「Welcome to Tokyo」の活用（提言 5・25）

Elementary（初級編）、Basic（基礎編）、Intermediate（発展編）の 3 冊を作成し、平成 28 年（2016 年）3 月に、都内公立学校の小学校 5・6 年生、中学生及び高校生に配布した。

付属の DVD とともに題材への理解を深め、プロジェクト等の言語活動を通して、英語で積極的にコミュニケーションする態度や意欲、英語による発信力を育成することができる内容としており、平成 28（2016）年度から、外国語活動や英語授業における補助教材としての活用を開始している。

## 4 東京グローバル 10 及び英語教育推進校の指定（提言 6・8・18・22・24）

平成 26（2014）年度、英語授業の改善に向けた先進的取組や、学校独自の特色ある取組を実施するなど、意欲ある生徒の英語力を更に伸ばす取組を組織的に行う先導的都立高校

等 10 校（下表参照）を英語教育重点校に指定し、JET-ALT の配置や Non-JET ALT の重点的  
配置等を行った。

また、平成 27（2015 年）年度には、新たにグローバル・リーダー育成を推進する都立高  
校等 10 校を「東京グローバル 10」（下表参照）に指定し、3 年間の指定期間に、外国人指  
導者の活用、生徒の英語力測定、少人数指導の充実等による生徒の英語力向上や、海外研  
修、海外からの受入れ等の国際交流活動、英語以外の外国語学習の充実に係る取組に対し  
て支援を行っている。

さらに、平成 28（2016）年度は事業を拡大し、教員・生徒のオンライン英会話や外部検  
定試験による生徒の英語力調査、音声リーディング・ソフトの導入、海外大学進学指導に  
おける情報提供等の支援等を行っていく。また、「東京グローバル 10」に加え、平成 28（2016）  
年度は、英語教育を推進する高等学校等を 40 校（下表参照）指定し、教員・生徒のオンラ  
イン英会話や外部検定試験による生徒の英語力測定、音声リーディング・ソフトの導入等  
の支援を行っていく。

【平成 26 年度英語教育重点校】【平成 27・28・29 年度東京グローバル 10 指定校】10 校  
＜都立高等学校＞ 日比谷、深川、西、国際、飛鳥、千早、小平  
＜都立中等教育学校＞ 小石川、三鷹、立川国際

【平成 28・29 年度英語教育推進校指定校】40 校

＜都立高等学校＞

江北、青山、竹早、白鷗、上野、三田、晴海総合、大田桜台、両国、墨田川、城東、  
小松川、小岩、富士、荻窪、調布北、狛江、小山台、駒場、目黒、新宿、文京、  
戸山、大泉、町田、八王子東、松が谷、日野台、翔陽、立川、昭和、国立、武蔵、  
武蔵野北、小金井北、保谷、多摩科学技術、国分寺

＜都立中等教育学校＞ 桜修館、南多摩

## 5 ICT の更なる活用（提言 8）

より正確な発音を身に付けることで、「話すこと」の技能に必要な力の向上を図るため、  
平成 28（2016）年度、東京グローバル 10 及び英語教育推進校を対象とし、音声リーディ  
ング・ソフトを導入していく。

あわせて、東京グローバル 10 及び英語教育推進校のうち 12 校の生徒を対象として、定  
期的かつ継続してネイティブとやり取りすることで、「使える英語力」の向上に資すること  
をねらいとしたオンライン英会話学習を導入するとともに、指導力向上を図るためにオン  
ライン英会話の教員研修を実施していく。